

3月反合同争の勝利かちとい



「汗と油とほこりにまみれて働いたこの身体だ、風呂に入ってなにが悪い！」
当局の弾圧に抗して、動労千葉・国労の入浴闘争はもえ上った。(3月14日)

日刊 動労千葉

83, 3, 16
No. 1291

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
〔鉄電〕二九三五・六・八(公衆電話)二二七二〇七

本日、3・16労働者集会に 総結集し、闘争体制を万全に築こう

全組合員の皆さん、わが動労千葉は、3月14日以降、国労との完全共闘体制をしっかりとちたて、入浴闘争Ⅱ時間内入浴規制粉碎闘争を突破口とする3月反合同争に決起した。本日の「3・16労働者集会」を、3・4月闘争を闘う総決起の場として圧倒的に成功させなければならない。われわれは3・4月の既得権防衛・反合・春闘を軸とした国鉄決戦と二期攻撃粉碎・闘う反対同盟断固支持連帯を柱とする三里塚決戦の爆発をもって、反動中曾根体制―国鉄当局―動労「本部」革マル一体となった反動攻勢をうち破ろうではないか。そして、その真只中で、中江―北原選挙の勝利をなんとしても必ずもぎりとっていかうではないか。

全組合員の総決起 総行動を!

臨調基本答申をうけた「緊急11項目」強行実施の攻撃は、国鉄労働者のなげなしの粗末な衣類をさえはぎとり、今や貧欲にも骨までしゃぶりとろうとしている。

政府・自民党、国鉄当局は、この一年間「乗車証」「諸手当」の改悪・剝奪をはじめ、「57・11」「検修下回り」合理化強行等で、国鉄労働者のかげがえのない権利、労働条件を奪いとる一方、仲裁の格差実施、年末手当の削減による生活苦を強制してきた。

さらに、「国鉄再建監理委員会設置法」を国会で成立させ、法的「権限」をもたせたりえて「民営・分割」をドウ喝材料に「国鉄20万人体制」の実現を狙う、すさまじい攻撃を策動している。すなわち、「58・X貨物合理化」「内達一号改悪を中心とする乗務員合理化」「運転適性検査の導入」であり、こうした動向に合わせた「職場規律の厳正」を名目とする「入浴時間規制」攻撃である。

われわれがいま、敵の攻撃の厳しさにひるみ、闘いを回避するならば、ついには骨の髄までしゃぶりとくされ、動労「本部」のように完全に骨ぬきにされ飼いならされてしまうことは明らかだ。労働運動の原点を堅持して起って闘い、当局の手先と化して国労・動労千葉破壊に血道をあげている動労「本部」革マルもろとも、返り討ちにしてやろうではないか。

そのためにも、3・16労働者集会を突破口に、入浴時間規制攻撃を国労共闘を一層強化しつつ、職場の大衆的実力的決起をもってはね返し、3・15〜17順法闘争を貫徹し、3・27三里塚現地集会

に全力で結集しよう。
動労千葉の総力で中江選挙闘争の勝利をもぎとり、これと結合して年度末手当獲得、83春闘に勝利し、国鉄労働運動解体攻撃をうち破ろう。

三、四月闘争の柱

Ⅰ、3・4月総決起闘争への突入・総決起集会として、3月16日「83春闘、三里塚―国鉄決戦、中江選挙闘争勝利 3・16労働者集会」に全力で結集する。

Ⅱ、3月反合同争を、以下の目標と戦術をもって闘う。

- * (目標) ①年度末(期末手当の差額を含む)獲得、②要員確保、臨雇の職員化、新採凍結解除、③昇給協定の組合要求による締結、④時間内入浴の確保、⑤運転適性検査反対、⑥国鉄再建監理委員会設置法粉碎、⑦共済年金の民主的統合、* (具体的取り組み)

(1) 3月14日以降、時間内入浴規制に対決して闘う。
(2) 3月15〜17日、国労共闘の立場から次の通り闘う。①全組合員は、15日始発時・始業時より17日24時まで時間外・休日労働の拒否行動。

②全乗務員は、15日始発時より17日24時まで回復運転拒否など非協力行動を実施。
(3) 3・31官民統一ストを中心とする3月下旬の闘いは、支部代表者会議で細部を決定する。

Ⅲ、反対同盟の分断―条件派化策動Ⅱ「一坪再共有化」なる土地売り渡し運動に反対し、敷地内を軸とする反対同盟を支え、①3・27三里塚第一公園に全力で決起し、②北原選挙必勝にむけ闘う。

Ⅳ、中江選挙必勝のため、3・4月、船橋市内を全支部・全組合員の総決起・総行動でうめつくす。
①全組合員最低3月に1日、4月に2日間の選対行動、②3月19、20日〓各日共百名動員の統一行動日、③3月28日〜4月1日〓第5次行動(後期)の貫徹。